

## 2022年度 学校関係者評価委員会

2023年3月23日(木)

会場：白根カトリックこども園 多目的室

委員：元保護者 ご近所

元父母の会代表

父母の会会長

父母の会副会長

園側：園長、副園長、幼児部主幹、乳児部主幹

資料(職員自己点検・自己評価、保護者アンケート集計結果、2022年度園の主な取り組み  
参考資料(白根カトリックこども園の沿革)

### ◎開会のあいさつ(園長)

委員の紹介

#### ◎2022年度自己点検・自己評価について[資料1] (幼児部主幹)

- ・自己点検・自己評価の項目の読み上げ
- ・内容について：自己点検・自己評価を行うことによって、冷静に自分を見直す機会とし、次年度につなげる指針や保育の資質向上をめざしている。

#### ◎保護者アンケート結果について[資料2] (副園長)

- ・評価項目の読み上げ
- ・項目6「お子さんがケガや不慮の発熱があったときなど、園の対応は十分だったでしょうか？」
- ・項目8「園は、お子さんの安全・健康管理に注意を払っているでしょうか？」2項目について、そう思わないという保護者の評価が2%あることに対し、真摯に受け止め改善を図りたい。
- ・項目10「お子さんの園生活について、安心して相談や話しかける雰囲気があったでしょうか？」について、そう思わないという結果がなく、昨年度からの改善が見られた。
- ・「園の改善点・ご要望」について、クリスマス会など、大きなイベントでの撮影許可が欲しいという要望が多数寄せられたことに対し、今後、行事によっては撮影緩和の方向も考えている。

#### ◎2022年度の園の取り組みについて[資料3]

(園長)園児と保育施設を取り巻く状況について

- ・園バス置き去り事件を受けて、県・市が行った園バス運行に関する立ち入り調査の内容について説明。今後、園バス内の居残り防止策についても説明を行った。

(主幹)2022年度の主な取り組みについて

- ・乳児部では、モンテッソーリ教育を行うための環境の改善。育児担当制を導入し、より園児一人ひとりの生活を大切にできるように取り組んだ。
- ・幼児部では、外部機関との連携を図り気になる子への支援を行う。気になる子への支援は、日常の保育の中で、丁寧な保育をすることにつながっている。

(副園長)その他の保育の取り組みについて

- ・英語教室、キンダーフェスティバル(園児作品展)、各種研修会の参加、神さまのお話について資料内容を補足説明。

(幼児部主幹)外部機関からの学びと学習について

- ・資料内容について補足説明を行う。
- ・園舎前横断歩道の舗装改修のお礼から始まった南警察署との交流について、「菌ちゃん野菜作り」について、小学校、中学校との交流会についてを詳しく説明した。

(副園長)コロナ禍の影響と対策について

- ・資料内容を読み上げ、今後(来年度)は感染予防をしながら、保護者に保育を見てもらえるような方向性を考えていることを説明した。

(園長)保護者懇談会開催の説明

- ・懇談会を開催した経緯と開催方法(時間を制限)、懇談会の内容を補足説明。

(副園長)ヒヤリハットの改善策について

- ・日常の保育の中でヒヤリとすることがあった場合、記録し、職員間で内容を共有していることを報告。ケガが起こった預かり保育時間のお迎え引き渡し方法を見直した内容を説明。

(副園長)第一生命財団の助成金によって、教材・教具等の充実がはかられたことを報告した。

◎昼食・給食を召し上がっていただく。

家庭でももう少し薄味にしようと思うという感想が聞かれた。

◎質疑応答・意見交換

「英語レッスンを始めたきっかけは？」

- ・特色ある保育として、英語レッスンを始めた。多数の聖母学園内の姉妹園で、行っていることも英語レッスンを始めたきっかけの一つ。来年度は、もう少し回数を増やす予定でいる。「ビデオ撮影について今後、緩和を考慮しているとお聞きしたが、どの程度の緩和か？できれば、行事での撮影を許可していただきたい。」
- ・園：検討中である。保護者アンケートの園からの回答でもお知らせしてある通り、式の雰囲気大切にしたい。また、お子さんをきちんと見守っていただくことが大切なことだと考えている。また、撮影について各家庭によって色々な考えがあり、多様な意見を配慮が必要なことをご理解願いたい。

(その他の意見)

- ・式は、子どもも緊張している。撮影することよりも子どもの姿を尊重する気持ちが大切。
- ・SNSなど、外部への発信について注意すれば、いくらでも写真・ビデオ撮影しても良いのではないか。
- ・「職員の自己点検・自己評価で、できなかったと評価している職員がいるが、そんなことはないのではないか。評価が厳しすぎるのではないか。」

園：勤務年数の長い職員ほど、評価を厳しくする傾向があるようだ。他園の職員が園見学をした際、園の環境構成を感心していかれた。丁寧な保育に努めている当園職員の思いの表れだと思う。

・「カトリックこども園は、凧作り体験はしないのか？」

園：園外保育で年少児が、白根大凧の館に行き凧あげ体験をする。園児でも凧作りができるのなら、ぜひ体験したい。

◎学校関係者評価表を記入していただく。

◎閉会のあいさつ(園長)

## 2022年度 保護者アンケート

単位(人)

| No. |  | Aそう思う | Bどちらかというと思う | Cふつう | Dそう思わない |
|-----|--|-------|-------------|------|---------|
| 1   | お子さんは、異年齢の交流によって、思いやりや大きくなることへの期待が育っていると思いますか？ | 36    | 11          | 6    | 0       |
| 2   | お子さんは、自分のことは自分でできるようになって、成長を感じますか？             | 28    | 21          | 4    | 0       |
| 3   | お子さんの言葉つかいや、きまりを守ることに、成長が見られましたか？              | 30    | 17          | 5    | 0       |
| 4   | お子さんは、給食によって好き嫌いや食べることの楽しさを感じてきましたか？           | 32    | 15          | 5    | 1       |
| 5   | お子さんの興味関心、発達段階に応じた保育・教育をしていると思いませんか？           | 36    | 12          | 5    | 0       |
| 6   | お子さんがケガや不慮の発熱があったときなど、園の対応は十分だったでしょうか？         | 41    | 4           | 7    | 1       |
| 7   | コロナ禍での保育・園行事などはその時に応じて工夫されていたでしょうか？            | 31    | 16          | 5    | 1       |
| 8   | 園は、お子さんの安全・健康管理に注意を払っているでしょうか？                 | 36    | 11          | 5    | 1       |
| 9   | お子さんの様子が、保育者の言葉や連絡帳、園のブログなどで伝えられていますか？         | 32    | 14          | 5    | 2       |
| 10  | お子さんの園生活について、安心して相談や話しかける雰囲気があったでしょうか？         | 35    | 11          | 7    | 0       |
| 合 計 |  | 337   | 132         | 54   | 6       |

## 園児と保育施設を取り巻く状況

- \* 園バス置き去り事件⇒11月に全国の全施設に、県と市の担当者による立ち入り調査があった。さらに園バス内に、居残り防止等の設置が義務付けられた。
- \* 保育士の虐待を疑われる(不適切な保育)逮捕事件があった  
⇒不適切な保育をしないためのガイドライン、自己チェックリストなどの作成の指示。  
市によるオンライン講座の受講、園内研修による周知がなされ、実施した。

## 2022 年度の主な取り組み

- ・乳児部:南区内の他園への見学によって、改善点(クラスの動線の見直し、棚の配置の見直し)などの気づきがあった。それらによって、個人の生活リズムに合わせて、保育を行うことができた。
- ・乳児部:モンテッソーリ教育をしている他園の見学によって、教具の配置の見直しを行った。(1学期と3学期)
- ・乳児部:クラス担任制を見直し、育児担当制に変更した:園児のきめ細かな保育ができ、個々人の成長やできることがよく見えるようになった。
- ・幼児部:いわゆる気になる子を療育施設と連携し、保育時間中に通所することによって、その子の良さや弱い点が改善されるようになった。
- ・園舎前の横断歩道の塗り替え工事をしていただいた(8月30日)  
⇒南警察署へ、年長児と年中児が感謝の気持ちを込めた作品を、12月22日年長児が訪問し、署長に手渡した。  
\*2月2日に、幼児(3歳~5歳児)が南警察署の豆まきに招待された(テレビと新聞で報道された)
- 英語教室(講師:ルイス・ロレンゾ師)対象園児は年中児・年長児(年間20回)
- キンダーフェスティバル(園児作品展)を3学期におこなうようにした。  
一年間かけて各学年がたくさん絵画活動を深めて、一年間の集大成を見ていただいた。
- 各種研修会の参加  
職員の資質向上のため、研修会へ積極的に参加している。1年間の延べ回数87回(オンラインも含み)1人の職員が平均で年間約7回研修会に参加している。
- 非常時の対応として、園児と一緒に避難訓練の実施(地震・火災・洪水・不審者)  
毎月行った。
- 『神さまのお話』年間7回  
2歳児~5歳児を対象に、園長より、聖書や聖人など心の育ちのためのお話を聞いた。

## 外部機関からの学びと学習

対象児(2歳~5歳児)

### 資料3

- **菌ちゃん元気野菜づくり**（微生物を利用した有機栽培）新潟市が主催。  
SDGs(持続可能な開発目標)の取り組みの一つになる。循環型の植物栽培。  
家庭から出る生ごみを土にかえして、微生物により肥料にする。その畑で野菜を栽培して給食の食材としてその野菜をいただく。6年ほど前から取り組んでいる。
- ・9/22(木)交通安全教室(ゆきつばき号)が来園し、交通ルールを学んだ(テレビ・新聞で報道された)
- ・10/28(金)JA企画による「シャカシャカおにぎり」づくりの体験をした。
- ・1/12(木)ごみリサイクル出前授業を行った。

#### 白根小学校、白根第一中学校の連携・交流会

- \*1/25(水)白根第一中学校に出かけ、中学1年生に「職業紹介」を行った。
- \*2月16日(木)白根小学校を訪ね、年長児が小学1年生との交流会をもった。  
内容は、小学校〇×クイズ、折り紙と絵描き歌をおしえてもらう。  
小学校への連携が図られ、就学への期待が高まった。
- \*3月に、小林小学校より、小学校の紹介CDが送られてきて、園児たちが視聴した。

#### コロナ禍の影響と対策

- ・コロナウイルス感染症による自主登園が2回あった
  - ・ノロウイルス感染症による登園自粛があった
  - ・行事の縮小によって、保護者への園内への立ち入りを制限したため、園児の活動を見ていただく機会がなかった。3学期からは、人数制限をしながらもできるだけ園内へ入っていたくように、方向転換をはかった。
- ⇒2/13～3/10 保護者参観、2/25(土)キンダーフェスティバル(作品展)を開催した。

#### 保護者懇談会の開催 6.17 19:00～20:10

- ・コロナ禍での園の対応や種々の園の対応に質問や要望が寄せられていたため、保護者のご理解を得るために、説明会を開催した。内容は、
- ・6/10 芳香剤が着いた上靴袋を持ち帰ったクラスがあり、液体の正体がわからず、確認せずに持ち帰らせたことによって、保護者のみなさまに不安を与えた。後日園児宅玄関に置いてあった芳香剤のビンが倒れたことによって、上靴袋に付着したものと判明。
- ・ケガをした時の園の対応について
- ・ゴールデンウィーク前と5月末の2度あった胃腸炎の流行について:園内の消毒の対応についての説明をした
- ・保護者からの若干の質問があり、回答した。

### ヒヤリ・ハットの改善策

・預かりの時間に、遊戯室で床に伏してボール遊びをしていた3歳児男児が、ボールを胸に抱え込んでしまったため、顔面を床に強打した。口内から出血し、前歯がぐらつき、歯科医を受診した。このことを受けて、預かり保育の見直しを行ったとともに、お迎えの対応で保育者が手薄にならないようにするため、迎えに来た保護者には園児がいる部屋まで来ていただくようにした。これによって、保育者の目が届くように改善された。

### 第一生命財団の助成金で教材・教具等の充実

- \*各クラスで必要としていた教材・遊具、テーブルをそろえることができ、よりよい保育環境整備ができた。
- \*延長保育の遊具の充実が図られ、楽しい時間が過ごせるようになった。

学校関係者評価委員の評価表

各項目に対して評価を○印をご記入ください。ご自由にご意見をお書きください。

|   | 評価の項目                          | 非常に良い | 良い | 普通 | 良くない | ご意見   |
|---|--------------------------------|-------|----|----|------|---|
| 1 | 保育者の自己点検・自己評価について              | 2     | 2  | 0  | 0    | ・説明が理解できた。・1年を振り返って自己評価をすることは、今後の保育の向上にもつながるので良いと思います。・先生方が真剣に保育に取り組まれているのが、よくわかりました。 |
| 2 | 保護者へのアンケートの結果と園への苦情、要望への回答について | 2     | 1  | 1  | 0    | ・保護者の意見をしっかりと聞いてくださり、園とすれば、大変な思いもあったとことと思いますが、結果、良い方向へ向かうものばかりであったと感じます。              |
| 3 | 今年度の保育の取り組みについて                | 2     | 2  |    | 0    | ・幼児部の取り組みについて、全体的なところでどのようなものがあり、どう改善、向上したのかを知りたかった。・コロナ禍という大変な時期の中、工夫や対策をしていたと思います。  |
| 4 | 外部機関からの学びと学習<br>小中学校との連携と交流会   | 3     | 1  | 0  | 0    | ・今後も外部の方との交流などを取り入れていていただきたいです。   |
| 5 | コロナ禍の対応、ヒヤリハットについて             | 2     | 1  | 1  | 0    | ・先生方の対応のおかげで、コロナもそこまで流行しなかったと思います。  |
| 6 | 総合的な評価                         | 2     | 2  | 0  | 0    | ・引き続き、子ども中心の保育・教育をお願いします。   |

## 白根カトリックこども園の沿革

|                   |  |
|-------------------|--|
| 1969年（昭和44年）3月28日 | 新潟県内に唯一幼稚園のない白根市は、幼児教育のために幼稚園の誘致を決め、市の要請によって、「宗教法人カトリック新潟教区 白根カトリック幼稚園」が創設され、新潟県の認可をうけた。定員120名 |
| 1969年（昭和44年）4月20日 | 白根カトリック幼稚園落成・開園式を行う<br>園児数76名  |
| 1973年（昭和48年）10月1日 | 園舎増築（保育室1室・廊下増やす）し、<br>定員160名に変更   |
| 1982年（昭和57年）4月1日  | 法人名の変更<br>新潟県内の17園と共に『学校法人 聖母学園』となる  |
| 2016年（平成28年）4月1日  | 定員100名に変更する  |
| 2017年（平成29年）4月1日  | 子ども・子育て新制度の「施設型給付型幼稚園」となる。<br>定員100名   |
| 2020年（令和2）7月      | 認定こども園の開園のために、国・県・市の補助金と自己資金によって、園舎の全面改築工事を行う。竣工引き渡しは2021年3月6日                                 |
| 2021年（令和3年）3月31日  | 白根カトリック幼稚園は52年間の使命を終え、閉園となる。新園舎で最後の卒園式(3月20日)を行う。<br>卒園児総数1,834名                               |
| 2021年（令和3年）4月1日   | 認定こども園に移行し、「白根カトリックこども園」と改称し、0歳児から5歳児まで預かる「幼保連携型認定こども園」となる。定員105名                              |